

科目名	精神保健福祉援助演習（基礎） B					単位	2.0
担当教員	吉田 みゆき						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	4114

●授業のテーマ

精神保健福祉士に求められる知識と技術について、実践的に習得する。

●到達目標

- ・基本的な面接技術がマスターできる。
- ・具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した実技がマスターできる。

●学習内容(授業概要)

具体的な援助場面を想定したロールプレイや体験学習を中心とした演習形態により、個別指導並びに集団指導を通して、相談援助の基礎的な支援技術を学ぶ。

●学習内容(授業計画)

1. 精神保健福祉援助演習の目標と内容、その方法について
2. 基本的コミュニケーション技術の学習
3. 情報の収集・整理・伝達（事例を用いた学習）
4. 自己理解と他者理解と専門職の価値と倫理の学習
5. 利用者理解と課題の発見・分析・解決（事例を用いた学習）
6. 面接技術（ロールプレイ）
7. 記録について（事例を用いた学習）
8. グループワークの体験とグループダイナミクス（体験学習）
9. コミュニティ・アウトリーチと地域住民のニーズ把握（視聴覚教材）
10. コミュニティ・アセスメント（事例を用いた学習）
11. 社会資源の活用と開拓技法（視聴覚教材）
12. ネットワーク連結技法（視聴覚教材）
13. 地域福祉の計画策定技法とサービス評価（事例を用いた学習）
14. ソーシャル・アクション（事例を用いた学習）
15. まとめのレポート作成

●準備学習・事後学習の内容

- 毎回の授業テーマの下調べをすること。
- 毎回の授業の感想を提出すること。

●成績評価方法・基準

レポート 30%，平常点 30%，授業に望む姿勢 40%による総合評価。

●テキスト（必携）

特に指定しない。資料等配布する。

●参考文献／その他

新・精神保健福祉士養成講座 8 『精神保健福祉援助演習（基礎・専門）』, [編集]日本精神保健福祉士養成校協会, 中法法規出版.

●履修上の注意

精神保健福祉士国家試験受験資格課程履修者の必修科目である.
演習ではグループワーク等, 積極的に参加すること.